

イトヨーカドーのCSRアクション

シーフードショー

持続可能な調達の手組みの発信



熊倉 道岳

マルシェ部鮮魚担当
シニアマーチャンダイザー

イトヨーカドーは8月24日～26日に、東京ビッグサイトで開催された「第24回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」（水産エコラベルコーナー）へ7&iホールディングスとして出店。グループ各社の認証商品や媒体・動画などを展示し、「グリーンチャレンジ2050」の手組みを紹介しました。

2020年4月に日本の大手小売業「初」となるMEL認証を取得したイトヨーカドーは、水産エコラベルコーナーで「顔が見えるお魚。」のMEL認証のぶり、かんぱち、ひらめ、真鯛、わかめ、鮎や、天然魚のMEL認証であるかつおの展示・紹介をいたしました。

MEL（マリン・エコラベル・ジャパン）認証とは、水産資源の持続的利用、環境や生態系の保全を配慮した管理を積極的に行っている漁業・養殖の生産者と、そのような生産者からの水産物を加工・流通している事業者を認証する水産エコラベルのことです。

イトヨーカドーはこれからも、食の安全安心・環境を守りたいと協力いただいている生産者の方たちと一緒に、日本の漁業を盛り上げてまいります。



関連情報

「未来世帯に美味しいお魚を繋ぐためにサステナブル・シーフード月間」
https://www.7andi.com/sustainability/g_challenge/project/sustainableseafood2021/index.html